

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月曜日・3校時	選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(住居学) Society and History (housing and living science)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 番教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 佐々野好継 /Eメールアドレス: y-sasano@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部5階 /TEL:095-819-2369 オフィスアワー:月曜日 3時-5時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500 文字) 授業のねらい: 住居学が五教科と関連していることの理解と住居を身近な存在として認識できることが出来るようにする。 住居に関する基本的知識と表現技術を身につける。 授業方法: 「P.P」。「ビデオ」。 授業到達目標: 住居観のイメージが把握できる。住まいの設計ができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 授業内容(概要) 住居学は、自然科学をはじめ、社会科学、人文科学のまたがる幅広い分野の知識・技術を必要とする問題解決学の学問です。本授業では、特に人文・社会科学の視点から講義します。 第1回 住居学の構造 第2回 建築計画—教室空間の把握 第3回 建築と生活/生活と住居 第4回 地理・歴史分野と住居 第5回 家庭科と住居 第6回 住居・インテリアの計画・設計(技術・家庭) 第7回 家庭科(高校)と住居 第8回 理科・社会と住居 第9回 設計・計画 第10回 長崎の住環境 第11回 住環境のデザイン 第12回 演習 第13回 演習 第14回 発表 第15回 発表			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「住居学教育」の資料を活用する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験、あるいは課題レポート(60点) 授業に対する取り組み方(20点) プレゼンテーション(20点)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			